

9月定例会の概要

令和7年9月定例会を次のとおり開催しました。

9月5日	本会議 議案上程(委員会付託)
9月10日～11日、 16日～17日	本会議 市政一般質問
9月18日～19日、 22日、24日	常任委員会
9月25日	特別委員会
9月29日	本会議 委員長報告等

各種使用料・手数料改定に係る議案を可決

○市の施設利用や手続に係る使用料・手数料について、受益者負担の適正化を図るため、関係する条例を改正する議案を可決しました。

なお、「使用料及び手数料の改定に当たり適切な対応を求める意見書」を可決し、議会から市長へ提出されました。
○各種使用料・手数料の改定については、令和8年4月以降、新たな料金が適用される予定です。

一般質問

質問した順番で掲載しています。

各議員名の下にあるQRコード※から質問の映像をご覧になれます。

平和公園スポーツ施設の再配置



自民創生
澤勢みずき



問 長崎南北幹線道路整備に伴う平和公園スポーツ施設の再配置については、各施設の移転先を決定し、各施設の再整備に向けて検討を進めていると聞いているが、スポーツ施設の移転に係る県からの補償費と建設に係る国からの補助金制度活用のための協議状況を伺いたい。

答 県は令和6年度末から各施設の移転補償のための建物調査に着手しており、現在、補償費用の算定が進められている。本市は、補償費の早期提示を改めて県へ要望しており、補償費の概算は今年度末までに提示される予定となっている。また、移転後のスポーツ施設の整備は本市が実施するが、補助金を最大限活用するため国土交通省の補助金制度の活用を検討している。補助金の活用には、国から具体的な施設の整備計画が求められているため、整備計画の策定後、速やかに国や県と協議を進めていく。

本市の障がい者雇用促進



市民クラブ
池田 章子



問 6月議会でも、市が障がい者雇用の対象を身体障がい者に限定することは法律の趣旨に反するので制限をなくすべきと指摘したところ、まだ受入環境が十分に整えられていないという答弁だったが、8月の採用試験の募集から精神障がい者や知的障がい者にも対象が拡大された。この急な変更の理由は何か。

答 議員からの指摘や長崎労働局からの助言も踏まえ、他都市の事例などを確認したうえで、障害者雇用の在り方について検討したもので、障害のある方の申出に対し一つずつ対応しながら正規雇用に関する取組を進めることが最善であると判断し、今年度の採用試験の募集から全ての障害のある方を募集対象とするよう見直した。障害のある方が、能力を発揮し、長期的に安定して働き続けるために、引き続き職場環境の充実に努めていきたい。

ミライの平和活動展の反響



公明党
久 八寸志



問 8月に開催されたミライの平和活動展では、教育版マインクラフトを使ったワークショップなど、新たなデジタルコンテンツを活用した体験型学習が行われたが、反響はどうだったのか。

答 この企画展では、小学生の親子25組が被爆前の長崎の町並みを再現するワークショップや、高校生がAIを活用して戦前・戦後の白黒写真をカラー化する取組を実施した。参加者からは、得られた知見を生かして継承していきたい、カラー化した写真を見るとより現実的に感じる、この活動を続けるべき、などの感想を頂いた。この企画展は、最新のテクノロジーを活用し、被爆の実相を効果的に伝えるところにも、若い世代が、長崎の記憶を未来へつなげる意識を持つきっかけとなるものであったと考えている。